

# 西広島バイパス高架 建設促進に関する要望書

国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会

全国的に人口減少・少子高齢化社会が到来する中において、広島広域都市圏域の経済を活性化し、自律的で持続的な発展を図るためには、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築する必要があります。

このため、昨年3月には広島市と圏域の23市町との間で、連携中枢都市圏形成に係る連携協約をそれぞれ締結し、「誰もが住み続けたい、住んでみたい」都市圏の形成に向け、圏域内の交流・連携の一層の強化を図っているところであり、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人超の維持を目指す「200万人広島都市圏構想」の実現のため、圏域内の広域幹線道路ネットワークの充実・強化を図ることがますます求められています。

一般国道2号のバイパスとして、昭和49年に供用開始された広島市と廿日市市を結ぶ主要幹線道路である西広島バイパスは、広島広域都市圏西部地域と広島市を有機的に連絡することによって地域の開発と経済の発展に大きく寄与する重要な道路であるとともに、広島都市圏の中心部に集中する交通を円滑に処理する自動車専用道路網の一部を形成する路線でもあります。

また、搬送時間の短縮による物流の効率化や、第三次医療施設への円滑な救急搬送にも寄与することが期待されます。

しかしながら、沿線の都市化や交通需要の増大に伴う著しい渋滞が深刻な社会問題となり、その早期解決が大きな課題となっていました。

このため、西広島バイパスの高架の建設につきましては、平成6年8月に広島市西区庚午北二丁目から広島市都心部にかけての高架延伸計画が都市計画決定され、平成15年10月に西区庚午北二丁目から中区舟入中町までの区間の高架道路が供用開始されるとともに、廿日市市平良地区から宮内地区までの区間におきましても、平成9年5月に高架形式の自動車専用道路部が都市計画決定され、平成24年3月から供用開始されるなど、着実な進展をみておりますことは非常な喜びであり、御当局の取り組みに対し心から感謝いたします。

このような中、残る西広島バイパス高架事業(都心部延伸)は、従来の課題である交通渋滞への対応ということにとどまらず、沿道環境の改善にも資する事業であり、また、西広島バイパス全線の完成という地元の熱い要望を達成するための、極めて重要な事業となっています。

つきましては、地元経済界と関係自治体が総力を結集し、強固な連携のもと事業が円滑に進むよう取り組んでまいりますので、国におかれましては、**西広島バイパス高架事業(都心部延伸)**について、**早期に再開していただきますよう、よろしく願いいたします。**

平成 29 年 月 日

国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会

会長 広島市長 松 井 一 實



国道2号西広島バイパス高架  
建設促進期成同盟会会員

会長	広島市長	松井一實
副会長	廿日市市長	眞野勝弘
監事	広島商工会議所会頭	深山英樹
〃	廿日市商工会議所会頭	細川匡
会員	大竹市長	入山欣郎
〃	広島市議会議長	永田雅紀
〃	廿日市市議会議長	仁井田和之
〃	大竹市議会議長	児玉朋也
〃	(一社)中国経済連合会会長	荻田知英
〃	大竹商工会議所会頭	望戸清彦
〃	広島経済同友会代表幹事	池田晃治
〃	広島県経営者協会会長	西川正洋
〃	広島商工センター 地域経済サミット会長	伊藤學人

(順不同)



# 西広島バイパス

西広島バイパスは、広島市西部の交通渋滞を解消し、地域活性化を図るための重要な交通手段です。



西広島バイパス L=19.4km

平成15年10月  
供用  
L=1.9km

未整備区間  
L=2.3km

新心部延伸区間  
L=4.2km

都市計画決定  
平成6年6月

平成24年3月供用  
廿日市高津橋区間  
L=約2km

都市計画決定  
平成9年5月